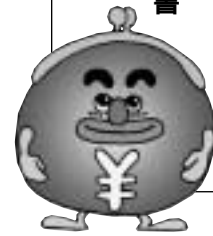


津山市の

財政
情報
続

先月号に引き続き、平成15年度決算に係り津山市の財政事情をお知らせします。今回取り上げるのは、次の4点です。

- バランスシート
- 行政コスト計算書
- 国民健康保険
- 介護保険



数値は四捨五入表示のため、計が含まない場合や構成比の計が100%にならない場合があります

1 バランスシート

資産形成に対する過去から将来にかけての負担額をあらわす

企業会計で事業に必要なお金をどのように工面し、使ったかをあらわすバランスシート（貸借対照表）。これを市の会計に当てはめる場合、昨年度末時点で市が持っている資産や負債などに注目し、それを得るために支払ったお金をどのように工面してきたかをあらわします。

貸方

負債（借入金など） 単位：万円

固定負債.....	3,624,444
流動負債.....	469,061
計	4,093,505 (A)

正味資産（民間でいう資本）

国庫支出金.....	1,983,585
都道府県支出金...	687,416
一般財源.....	3,318,705
計	5,989,706 (B)

合計 1,008億3,211万円

資産借方を得るために過去に投入されたお金

バランスシートの特徴

資産や負債などに注目している
歳入歳出決算では、あらゆるお金の出入りをあらわしていますが、バランスシートでは資産や負債などの全体像をあらわしています。

資産形成以外の行政サービスに支払う費用を別の角度から分析する

2 行政コスト計算書

市のお金の多くは、その1年間に支払い終わる行政サービスに使われます。バランスシートでは長期間の支払いが必要な資産に対する費用を扱いましたが、それらすべてを除いて費用を分析するのが行政コスト計算書です。効率的な行政運営を進めるため、行政コストを性質別・目的別にあらわすなど、歳入・歳出決算では現れてこない部分を導き出す道具として用いられます。

目的別行政コスト

単位：万円	総額	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	そのほか
行政コスト	2,747,533	34,988	341,286	836,598	293,398	15,688	111,462	31,182	457,412	150,691	335,338	139,492
性質別行政コスト												
人にかかるコスト	623,180	30,053	223,031	63,427	66,192	5,408	21,549	10,533	48,354	2,156	152,478	0
物にかかるコスト	680,716	2,753	87,011	30,531	145,333	8,047	58,429	7,146	184,951	6,478	149,966	73
移転支的コスト	1,304,218	2,182	31,245	742,640	81,873	2,234	31,484	13,503	224,106	142,057	32,894	0
そのほか	139,419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139,419



では、このシートは市の財政状況をどのようにあらわしているのでしょうか？それはいくつかの指標を使って判断できます。

津山市 59.4%

$$\frac{B}{A+B} (\%)$$

正味資産比率

ちなみに他市の状況は...

岡山市 54.3%
倉敷市 65.8%
玉野市 59.3%

企業会計の「自己資本比率」に相当し、財政が安定しているかどうかを見る指標として用いられます。数値が高いほど安定していることを示します。ただし、企業会計上いわれる投資余力があるという判断にはつながりません。

借方

資産(平成15年度末時点)

土地、建物、道路、公園など
(有形固定資産) **C**
.....8,281,437
土地が44%を占める

投資、出資金、貸付金、基金
.....1,098,523

現金、預金、未収の税金
(流動資産)
.....703,251

合計 1,008億3,211万円

市民1人あたり資産額

113万1,800万円

工面したお金貸方で得た市の資産

津山市 72.3%

$$\frac{B}{C} (\%)$$

社会資本形成の世代間負担比率

ちなみに他市の状況は...

岡山市 60.3%
倉敷市 69.1%
玉野市 67.5%

市の社会資本(土地、建物、道路、公園など)を整備するのに、これまでの世代がすでにどれだけ負担したかをあらわします。数値が高いほどすでに負担した割合が高く、将来世代に残された返済が少ないことを意味します。

長期的な財政状況が把握できる
1年間に限ってお金の出入りを扱う歳入歳出決算と異なり、これまでに使われたお金や、将来世代に残された負担額がわかります。このことから長期的な視点で財政状況を把握できます。

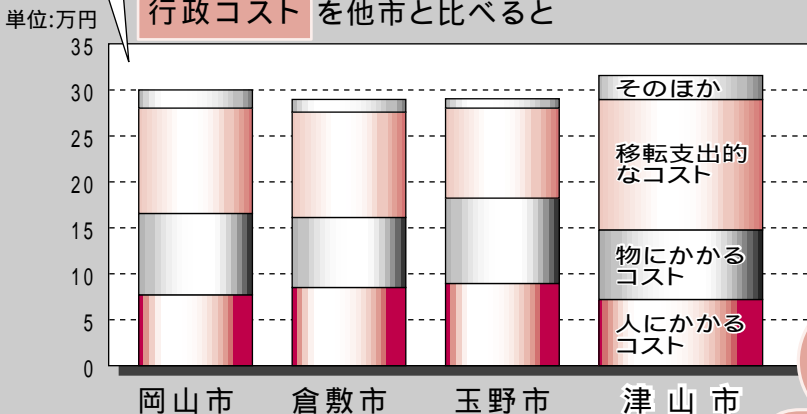
バランスシートと行政コスト計算書についてのお問い合わせは、市財政課 085-922-2020へどうぞ。

は平成14年度値

1人あたりの行政コストを比較すると、津山市が最も高くなっています。これは、おもに移転支出的なコストが多いためです。その一方、物にかかるコストは低くなっています

市民1人あたりの

行政コストを他市と比べると



一番多いコストは

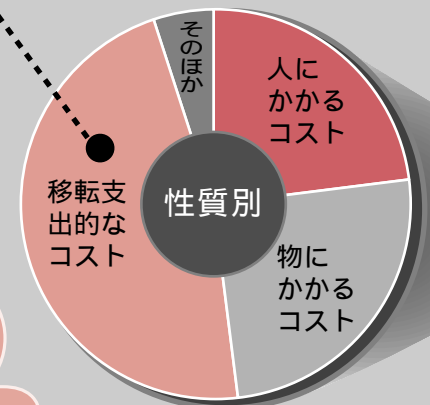
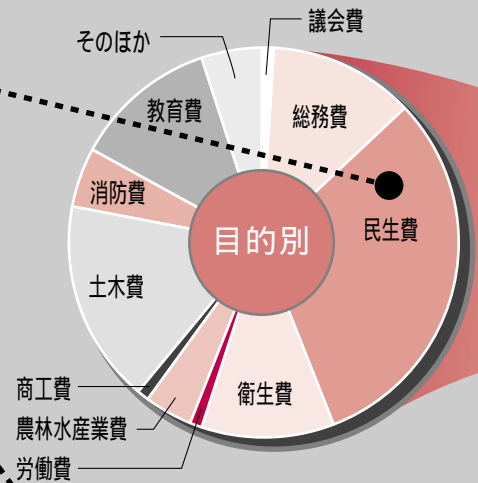
民生費

児童扶養手当など福祉に使われるお金

一番多いコストは

移転支出的なコスト

補助金や負担金、生活保護費など他の団体・人に給付されるお金



市民1人あたり行政コスト

30万8,400円